

ひ お ま

2009. 3

Vol.47

HIOKI-City <http://www.city.hioki.kagoshima.jp/>

主な記事

日置市生涯学習大会	2
地域女性大会	4
南九州美術展	5
病後児保育事業をご利用ください	6
介護予防大会	7
公的年金から個人住民税を直接納付する制度が始まります…	8
まちの話題	9
市民の広場	18



日置市生涯学習大会

誇りの持てる地域づくりを

平成二十年度日置市生涯学習大会が二月七日、吹上中央公民館で開催されました。田代教育長のあいさつの後、日置市社会教育功労者の十四人と二団体に功労者表彰が、次に公民館講座修了書を三十人の講座生にそれぞれ授与されました。また、市内各地域の代表の方々

が今年度の学習成果としてフラダンス、マジック、ハーモニカ演奏、合唱など発表され会場内はなごやかなムードに包まれました。記念講演として、落語家の林家源平さんによる「落語家さんのヘルパー修行日記 介護は十人十色」と題して講演が行われました。



▲学習成果発表 自主フラダンス講座



▲学習成果発表 日吉ハーモニカクラブ



▲学習成果発表 コールさざんか

平成20年度日置地区社会教育関係優良団体・個人表彰

個人・団体	表彰団体・個人名
個人	重水 富夫
個人	坊野 敏次
個人	下野 照男
団体	徳重婦人会
団体	草田婦人学級

平成20年度県教育委員会表彰

表彰項目	個人・団体等
県教育委員会優良少年少女団体表彰	東宮内子ども会

平成20年度各種社会教育関係団体等全国・九州・県関係表彰

表彰項目	個人・団体等
優良PTA文部科学大臣表彰	扇尾小学校PTA
全国子ども会連合会表彰	松山 謙三郎 (東市来地域子ども会育成連絡協議会長)
県子ども会育成連絡協議会優良団体表彰	上土橋子ども会育成会
県コミュニティづくり推進協議会花いっぱいコンクール表彰	伊集院北小学校PTA

日置市社会教育功労者・団体表彰

氏名	地域
(副)藤松 劫	伊集院
池田 英俊	伊集院
野上 政人	伊集院
高山 武志	伊集院
船迫ノブ子	伊集院
左近充 忍	東市来
末廣 芳男	東市来
福留 重盛	日吉
春成 道夫	日吉
牧内 重光	日吉
右田 透	吹上
濱村 良一	吹上
原口 三善	吹上
下野 照男	吹上
徳重東婦人会	伊集院
坊野高齢者クラブ	吹上



講師 落語家 林家源平さん
落語家の林家源平さんは、体を動かすことが大好きで、老人福祉施設へ落語ボランティアに行き介護そのものに興味があり、介護ヘルパーの資格を取得。デイサービス利用者の方々との体験談をユーモラスに話され、「介護も地域も声かけが必要である」と訴えられました。最後に講座で古典落語のひとつ「代書屋」を熱演、会場は笑いの渦に包まれました。

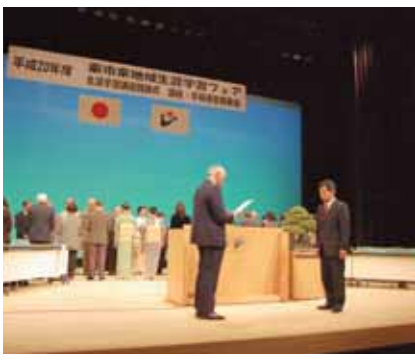
「落語家さんのヘルパー修行日記 介護は十人十色」

「ともにまなびあい 豊かな心で 町づくり」

東市来地域生涯学習フェア

東市来地域生涯学習フェアが一月三十一日、東市来文化交流センターで開催されました。「ともにまなびあい 豊かな心で 町づくり」をテーマに、三百人が参加し、学習活動の発表や講演が行われました。オープニングは生涯学習講座コース講座生の歌声が会場を包み、修了証書授与式では二講座の代表者がステージ上で終了証を受け取りました。陶芸講座生の山口和子さんは「勉強できる環境があることが幸せ。陶芸は奥が深くて自分が思い描く作品を作ることが難しい」と振り返りました。同講座講師の内村三郎さんは、「講座生の陶芸に懸ける思いは素晴らしい」と振り返った上で

「二朝一夕では上達しない。たゆまない努力が必要ですよ」と生涯にわたって学習することの大切さを話しました。講座成果では真向法(まっこうほう)講座生が体操を披露、学級運営発表では上市来地区の徳重由美さんや美山地区の西村明美さんが各地区の学級の活動の様子を発表しました。フェアの最後にはノンフィクションライターのジェフリー・アイリッシュ氏が「楽しみをどこで見つけるか」と題して講演。自身が住む南九州市川辺での実体験を基に「人生を楽しむには、学ぶこと、社会に参加すること、自分の居場所を作ることの三本柱が大切です」と話しました。



▲真向法(まっこうほう)講座生が体操を披露



▲オープニングを飾る「ママ&キッズ」

「生きがいづくり まちづくり」を考える

伊集院地域生涯学習フェア

伊集院地域生涯学習フェアが二月一日、伊集院文化会館で開催されました。妙円寺地区公民館講座の「ママ&キッズ」のオープニングで開幕。親子で踊る姿に会場からは、たくさん拍手が送られました。大会は、学習成果発表として伊集院北地区公民館講座の「舞踊」、市中央公民館講座の「着付け」の実演や飯牟礼地区公民館の「生花講座」の受講生、馬場節子さん、「市青少年海外派遣事業」でアメリカにホームステイした、東史華さん(伊集院

ひろげよう地域の絆

日吉地域生涯学習推進大会

日吉地域生涯学習推進大会が二月二十八日、日吉老人福祉センターで開催されました。大会は、「日吉町民舞同好会」の華麗な舞踊で開幕。田代教育長の開会あいさつ、宮路市長の祝辞の後、日置市の名を全国へ発信するため、ご尽力いただいたボランティアガイドの方々へ感謝状が贈られました。次に、地区公民館などの特色ある活動の紹介や「小松帯刀を

高校)の体験発表が行われました。「生涯学習この一年」では、今年度のさまざまな取り組みをスライドで紹介。参加者は、あらためて生涯学習への関心を高めたようでした。また、北朝鮮による拉致被害者家族連絡会事務局長の増元照明さんが「家族の絆」と題して講演。増元さんは、姉のみずさんが拉致被害に遭う前の家族の様子や拉致被害後の家族の活動などを話され、「早く拉致被害者全員を連れ戻すことができるよう支援をお願いしたい」と会場の参加者に呼びかけました。



▲「日吉町民舞同好会」の華麗な舞踊で開幕

地域女性大会



▲活動発表「地域で育てる思いやりの心」

今こそ 女性の出番！

伊集院地域女性大会

講演では、鹿兒島県教育庁社会教育課の郡山裕子先生が「今こそ、みなさま方の出番！」と題して講演しました。



▲ハーモニークラブの手話コーラス

社会情勢が急速に変化する現代、家庭・学校・地域・職場などで自らの個性と能力を生かし、各女性団体の連携と融和のもと、真の男女共同参画社会の実現を図るため一月十七日、市中央公民館で伊集院地域女性大会が開催されました。

大会は、ハーモニークラブの手話コーラスで開幕。伊集院地域各種女性団体連合会の四元美紗会長のあいさつの後、共通実践項目を確認し、民生委員女性部の吉村京子さんが活動発表を行いました。

青少年へ明るい未来をおくるために

日吉地域女性大会

男女共同参画事業の一環として「子育てから地域づくり」に至るあらゆる分野において地域社会への協働および情報発信を目的とした日吉地域女性大会が、一月十八日、日吉老人福祉センターで開催されました。

大会は、天神太鼓保存会による「帯刀太鼓」で開幕。

霧島市単人塚史跡館で指導員をされている鮫島康雄先生を講師に迎え、「人生は楽しく」と

いう演題で、来場者とふれあいがら楽しく講演しました。

活動発表では、それぞれの活動を寸劇にして発表しました。PTA母の会は、日置小学校の親子読書会による「まちのねずみといなかのねずみ」を披露。

民生・児童委員は「地域で育てる思いやりの心」と題して、地域がひとつになって海岸をきれいにしようと呼びかけました。

女性の果たすべき役割とは

東市来地域女性大会

東市来地域女性大会が二月十七日、東市来文化交流センター多目的ホールで開催されました。

主催は地域婦人団体連絡協議会。九つの女性団体からなる組織で、八十人が出席しました。

大会では、各団体の活動紹介や地域生活学校と生活研究グループ東市来支部が実践報告を行いました。その後、東市来図書館の濱田正子司書が、「図書館の窓口から」と題して講演。

最後は、市商工会女性部東市来支部桂木会長が提案した決議文が採択され、今回、女性の役割を見つめ直す学習とともに、男女共同参画社会、福祉活動、健康で豊かな暮らし、環境保全、地域産業の発展など五つの項目を決議しました。



男女共同参画社会の実現を目指して

吹上地域女性大会



吹上地域の各女性団体が一同に会し活動を紹介、さらに向上し楽しい仲間づくりができるようにと、第三十回吹上地域女性大会が二月七日、吹上中央公民館で開催されました。

大会は、吹上地域各種女性団体連絡協議会が主催して、生涯学習大会と共催で行われました。

八団体の代表者はそれぞれ段場にて一年間の活動を報告し来場者へ加入促進などを呼びかけていました。

この日は、来場者に対し豚汁が振る舞われましたが、早朝から女性団体が準備したもので、バザーなどの益金で賄われているものです。

南九州美術展



第五十六回南九州美術展が開かれ、今年も美術部門に県内各地の幼稚園から高校までの二百二十三校から六、一八四点、書道部門に日置市内の小・中学校二十三校から一、三五一一点の応募がありました。

一月二十二日に行われた審査会で、美術部門特別賞(四八点、特選(九一点)、入選(四九四点)、書道部門特別賞(二七点)、特選(二九点)、入選(九七点)が決定し、二月十一日から二十二日まで市中央公民館で入賞作品が展示されました。

この美術展は、昭和二十八年に故門松周一画伯の「熱き思い」から第一回伊集院総合美術展として発足。芸術探求の中で画伯は、「妙円寺参りて培われる武徳だけでは、人間が武骨になるので心情も兼ね備えた青少年を育てたい」と思い、この情熱から美術展が誕生しました。その後、昭和三十八年の十回展から「南九州美術展」と改称し、今日まで続けられてきました。

市内の特別賞受賞者、学校賞は表のとおりです。(敬称略)



▲市中央公民館の展示作品を鑑賞する市内児童

市内各賞受賞作品



日置市長賞
田代 千佳
(伊集院中1年)



鹿兒島県知事賞
木場 仁美
(扇尾小3年)

日置市長賞 田中 陽菜(妙円寺小1年)

美術の部

賞	部門	氏名	学校名
鹿兒島県知事賞	描画	木場 仁美	扇尾小3年
南九州美術展賞	版画	宮下 美優	土橋小3年
	版画	坂口 蓮	吹上中1年
鹿兒島県美育協会賞	描画	有留 麻衣	伊集院中3年
	描画	濱畑 翔馬	伊作小1年
南日本新聞社賞	版画	松永 航季	妙円寺小3年
鹿兒島読売テレビ賞	描画	大石みのり	湯田小5年
日置市長賞	描画	増山 歩樹	妙円寺小1年
日置市議会議長賞	描画	尾堂 可奈	土橋小6年
日置市教育委員会賞	版画	宮之前 陸	土橋小6年
門松周一賞	描画	村場 杏奈	伊集院北小4年
日置市校長会会長賞	描画	小村 怜也	飯牟礼小1年
学校賞 (10校)		土橋小学校	
		伊集院北小学校	
		妙円寺小学校	
		日置小学校	

書道の部

賞	部門	氏名	学校名
日置市長賞	条幅	田中 陽菜	妙円寺小1年
	半紙	田代 千佳	伊集院中1年
日置市議会議長賞	半紙	今村 安里	伊集院小6年
	硬筆	西園奈那子	伊集院小1年
日置市教育委員会賞	半紙	吉富慶汰郎	伊集院小3年
	半紙	宮下 彩佳	妙円寺小1年
日置市校長会会長賞	八ツ切	下園 理恵	伊作小6年
	半紙	山下 麻美	伊作田小4年
日置市PTA連絡協議会会長賞	半紙	松野下昂史	妙円寺小6年
日置市社会福祉協議会会長賞	硬筆	今村 圭吾	伊集院小2年
	半紙	今福千紗乃	伊集院北小6年
南日本書道会賞	八ツ切	下園 理紗	吹上中3年
	硬筆	有村 美治	伊作小1年
	半紙	中尾 柚月	伊集院小2年
	半紙	永田 優里	伊集院小5年
	八ツ切	橋口 大輝	妙円寺小5年
小倉博文堂賞	半紙	上江 昌大	伊集院北中2年
	半紙		伊集院小学校
学校賞 (2校)			伊集院中学校

平成20年度 日置市介護予防大会

日吉老人福祉センターで、1月24日（土）日置市介護予防大会が開催されました。

活動発表や講演会等が行われ、会場にいられた約350人の方々は、自分たちのこととして熱心に耳を傾けていました。

現在、日置市の高齢化率は約28%であり、今後、更に高くなることが予想されます。個人はもちろん自治会や公民館単位での介護予防・健康づくり活動、また、医療や介護に関する正しい知識を得ることは、私たちにとって、とても大切な事です。行政はもちろん、みんなでこの問題を考え、安心して暮らせる日置市をつくっていきましょう。



日置地区公民館では、「元気市民づくり運動」推進として、健康講演会や歩こう会、男性料理教室などの健康づくり活動を始めています。

八幡自治会では、閉じこもりがちな高齢者を対象としたいきいきサロン「八幡せつべとべ会」を行い、サロン支援者が協力し合って送迎も行っています。

子どもから高齢者まで参加し、幅広く楽しい活動内容を行っています。

◀「地域で支えあう介護予防・健康づくり活動」
日置地区公民館長・八幡自治会の山口義光さん

主治医は、あなたの身体をよく知っています。黙って複数の病院にかかる、薬の飲み合わせや治療内容により、身体に悪い影響が出る場合があります。住み慣れた地域で、安心して生活するために、病院や医師を選択する目を養い、説明がわかりやすく、相談に乗りやすい「かかりつけ医」を持ちましょう。

医師との信頼関係を築き、わからないことは相談しましょう。

▶「お医者さんとの上手なつきあい方」
山之内クリニック 山之内梅節先生



認知症は、脳の細胞が死んだり、働きが悪くなったりすることで生活にさまざまな支障が出ている状態をいいます。認知症の人は悪くありません。病気による症状です。「認知症の人は何もわからない」というのは間違いで、強い不安の中にいることを理解しましょう。家族も大変な思いを抱えています。周囲の人が、認知症の人や家族の気持ちを理解し、地域全体で支えていくことが大切です。

◀「皆に必要な認知症の基礎知識」
鹿児島県認知症サポート医・児玉病院 佐藤大輔先生

一人で抱え込んでいませんか？

地域包括支援センターでは、主任ケアマネジャー・社会福祉士・保健師などが連携し、高齢者の介護や生活に関することを総合的に支援します。お気軽にご相談ください。

【主な業務】

- ① 介護予防サービスの利用調整・介護予防の推進
- ② 介護や生活に関する総合相談や地域支援
- ③ 権利擁護、虐待の早期発見・早期対応
- ④ 地域のケアマネジャーなどへの支援

【問い合わせ先】

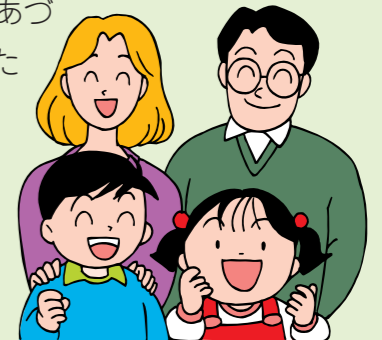
日置市地域包括支援センター、介護支援係
日置市伊集院町郡1-100(日置市本庁舎となり)
TEL:273-2111(内線1182~1184) FAX:273-0018

病後児保育事業をご利用ください!!

○ 日置市内に病後児保育事業所が増えました!!

現在、日置市では、子育て支援の一環として、伊集院地域のあづま保育園で病後児保育を行っています。平成21年度から新たに吹上地区の厳浄寺保育園でも同事業をスタートすることになりました。

病後回復中のお子さんを冠婚葬祭や仕事の都合など、ご家庭で保育できないというときは、ぜひご利用ください。



※ 病後児保育とは……。

【事業の内容】

病気の回復期であるが、集団保育が困難な期間に看護師など病後回復期のお子さんを預かる条件を整えた保育所で保育を行う事業です。

【対象児童】

保護者の勤務などの都合により家庭で保育を行うことが困難な小学校3年生までのお子さんを対象としています。

【その他】

病後児保育を利用される際には、かかりつけ医師などからの意見書が必要になる場合があります。

病後児保育室の定員の都合上、ご利用いただけないこともありますので、利用の際には必ず各事業実施保育園にご連絡ください。



【病後児保育制度の問い合わせ先】

本庁福祉課子ども福祉係

TEL 273-2111(内線1126)

【病後児保育実施施設】

うさこちゃん(あづま保育園内)

TEL 273-1277

えがお(厳浄寺保育園内)

TEL 296-3888

公的年金から個人住民税を直接納付(特別徴収)する制度が開始されます

年金所得に係る個人住民税は、給与からの納付(特別徴収)又は普通徴収(納付書又は口座振替)により納めていただいていたましたが、平成21年10月から年金支給時に年金から直接納付させていただく特別徴収制度が開始されます。

公的年金とは

老齢基礎年金等の老齢又は退職を支給事由とする年金で、国民年金、厚生年金、共済年金などのことです。

特別徴収の対象となる方

- 次の全ての要件に該当する方
- (1) 前年中に公的年金等の支払を受けていること。
 - (2) 当該年度の初日において、国民年金法に基づく老齢基礎年金等の支払受け取り額が年18万円以上であること。
 - (3) 当該年度の4月1日に65歳以上であること。
 - (4) 介護保険料が年金から納付されていること。

特別徴収の対象となる年金

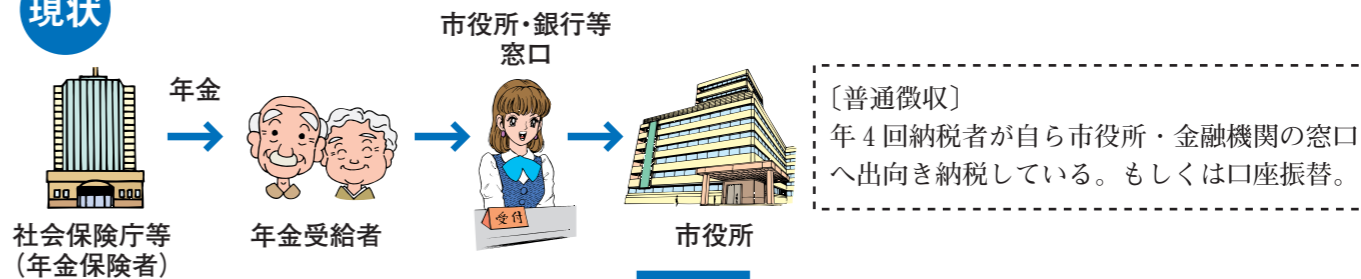
国民年金法に基づく老齢基礎年金等で、年額18万円以上の年金

特別徴収の対象となる個人住民税

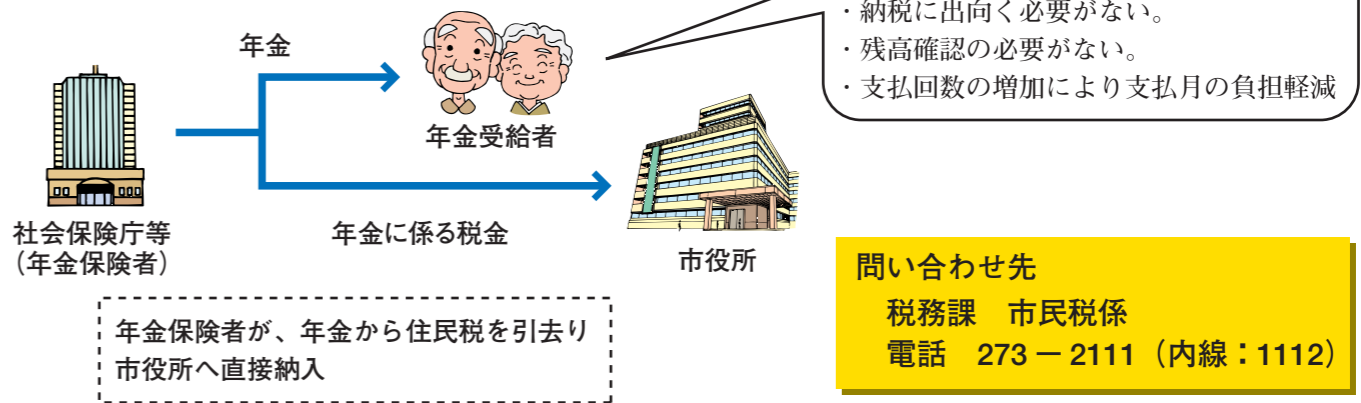
特別徴収の対象となる個人住民税は、公的年金等の年金所得に係る個人住民税のみとなります。したがって、年金所得の他に給与所得、不動産所得など他の所得がある場合、これらの所得に係る個人住民税は、従来どおり、給与からの納付(特別徴収)又は普通徴収(納付書又は口座振替)による納付となります。

公的年金からの特別徴収制度の導入による納税方法の変化

現状



特別徴収制度の導入により



問い合わせ先
税務課 市民税係
電話 273-2111 (内線:1112)

「エネルギー管理優良工場」で経済産業大臣賞受賞

パナソニックセミコンダクターオプトデバイス(株)

平成二十年年度省エネルギー月間表彰式が二月十日、東京ビッグサイトで行なわれ、パナソニックセミコンダクターオプトデバイス(株)が平成二十年年度エネルギー管理優良工場表彰で経済産業大臣賞を受賞され二月十六日、市長を表彰訪問されました。同社は、空調用の冷凍機・冷

却塔の駆動源の燃料転換・ポンプなど補機類の回転数制御の運用改善によって、原油換算で年間四百五十三キロを削減。このほか、さまざまな省エネ対策を実施した結果、工場全体としては平成十七年度から平成十九年度にかけ、年平均約七割の省エネを実現しました。



男女共同参画社会の実現に向けて

平成20年度第一回日置市男女共同参画推進懇話会

日置市男女共同参画推進懇話会が十二月十八日、市中央公民館で開催されました。懇話会は、家庭、地域、職場など、社会のあらゆる場に男女が対等に参画し、個性や能力を発揮しながら、互いに生き生きと安心して暮らせる社会の実現に向けて、市民参加による制度づくりを推進するために設置されています。委員は各種団体の代表者や市議会議員、教育委員、農業委員、公募委員など十八人で構成され、委員に委嘱状の交付の後、会長

に市地域婦人会連絡協議会の有馬澄子さん、副会長に市議会議員の花木千鶴さんを選任。会では、市や県の男女共同参画基本計画の説明や平成二十年の男女共同参画事業の取り組みとして、配偶者や交際相手からの暴力(ドメスティック・バイオレンス/DV)に関する事業の概要について報告を受けました。また、事例の紹介もあり、身近に起こっている現実について認識を深めました。



葉たばこ栽培技術の改善および経営発展に尽力

農林水産大臣表彰

鹿児島県たばこ耕作組合設立二十周年記念式典が二月五日、鹿児島市で開催され、山里一幸さん(日吉)が葉たばこ栽培技術の改善および経営発展に尽力されるなど、優秀な葉たばこ農家としての実績が認められ、農林水産大臣賞を受賞されました。山里さんは、葉たばこ一・八畝のほか水稲・かんしょ栽培を営む専業農家であり、葉たばこ耕作組合の日吉総代区総代など、本地域の農業振興発展に貢献されています。

教育振興に長年尽力

伊堂寺重義さん(日吉)瑞宝双光章を受章

伊堂寺さんは、昭和十六年、台湾公立学校をかわきりに各地を歴任。同五十六年に金峰町立阿多小学校長を退職。その後、同五十七年からは社会教育指導員、文化財保護審議会委員として日吉町郷土誌下巻を執筆。また、選挙管理委員や保護司を務めるなど、学校教育、青少年の健全育成、社会教育の振興に長年にわたり尽力されるなどの功労が認められ、瑞宝双



光章を受章されました。



▲往年の「まさかり投法」を披露する村田兆治さん

将来のプロ野球選手を目指して

村田兆治(元ロケット投手)野球教室

村田兆治さんによる野球教室が一月三十一日、チェスト小鶴ドームで、中学生を対象に開催されました。

村田兆治さんは元プロ野球ロケットオリオンズの投手。「まさかり投法」で数々のタイトルを獲得しました。引退後もプロ野球マスターズリーグに参加する一方、自らも「対馬ドリームス」を設立し、投手兼監督として活動。現在でも百四十キロを越すスピードボールを記録するなど活躍しています。

この教室は、同ドームの命名権(ネーミングライツ)を獲得した小正醸造株式会社の小正芳文代表取締役が昨年に引き続き企画。地元日置市の中学校四校八十名が参加しました。

当日、村田兆治さんは準備運動、キャッチボールを実演しながら指導。野球を上手に長く続ける秘訣として、体のバランスと柔軟性をあげ、柔軟運動には特に熱を入れて指導しました。最後に、一人ずつ打席に立させて実戦さながらに投げ込みを行いました。ストレッチや変化球を自由自在に使い分けた投法に、バッターだけでなくピッチャーを目指す中学生も目を輝かせていました。



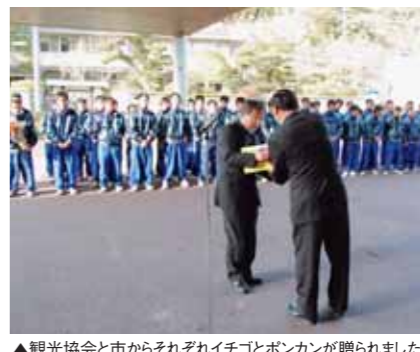
V奪還を目指して

広島学院大学硬式野球部春季キャンプ

広島学院大学硬式野球部が、二月十八日から二十六日まで湯之元球場(東市来地域)で春季キャンプを行いました。

二月十八日に行われた歓迎式では、橋口修治観光協会長が「特産品を食べて、湯之元温泉で英気を養い、練習に励んでください」とあいさつ。

それに応じて同野球部の繁田正義監督が「昨年の春の大会は準優勝でしたので四年ぶりの優勝を果たしたい」と抱負を述べました。



▲観光協会と市からそれぞれイチゴとボンカンが贈られました

鹿児島県春季サッカー大会準優勝

東市来中学校サッカー部

東市来中学校サッカー部が二月七日から十日まで行われた、第三十六回鹿児島県春季サッカー大会で準優勝し九州大会への出場が決まりました。

準決勝では、国分中学校に3点差をつけられましたが同点に追いつきPK戦で勝利。決勝戦では惜しくも神村学園に敗れましたが、三月二十七日から福岡県で開催される九州中学校サッカー大会に出場。今後の活躍が期待されます。



総合5位! 目標達成

第56回鹿児島県下一周市郡対抗駅伝競走大会



▲大会1日目 第1区スタート宇都選手(右から2番目)

二月十四日から十八日までの五日間、十二地区(各地区登録選手二十一人)を代表する選手が早春の薩摩・大隅路590.8km(五十三区間)を駆け抜けました。

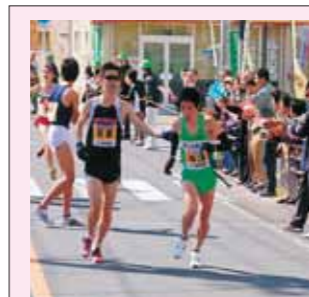
「チャレンジ日置、いざ出陣」をチームのキャッチフレーズに掲げ、チーム一丸となって二日目の日間優勝と総合五位を目標に大会に望みました。

日置チームは、郷土入りの二日目、地元の熱い声援を受けて日間優勝に向かって激走。三区藤脇選手が区間二位の走りです。五区大六野選手が区間賞(区間

日置市関係者紹介(敬称略)

区分	氏名	所属
コーチ	今屋 謙	日置市消防本部
	船倉 利幸	日置市役所
	前屋敷 満	日置市役所
	小園 秀作	日置市役所
	高田 敏寛	鹿児島城西高等学校
選手	小園 勇作	日置市消防本部
	徳重 祐児	日置市消防本部
	有馬 拓美	日置市消防本部
	下池 正	東市来中学校
	早馬 仁	陸上自衛隊
	篠原 正大	第一工業大学
	能勢 勇作	第一工業大学
	宇都 邦和	第一工業大学
	中村 泰士	志学館大学
	橋之口 悟	志学館大学
	木之下 昂侑	鹿児島商業高等学校
	藤脇 孝哉	鹿児島実業高等学校
	有村 優樹	鹿児島実業高等学校
	松枝 拳	鹿児島城西高等学校
	今藤 克己	鹿児島城西高等学校
	田口 哲	伊集院高等学校

最終日では、四日目第二区で区間賞(区間新)を取った有村選手が一区で二位と好スタートを切り、四区有馬選手の区間賞などで最終区まで日間二位をキープしましたが、鹿児島チームと二位争いの末、九秒差の日間三位でゴールしました。



▲10日出場の節目を迎えた徳重選手(写真左)

徳重祐児選手が十回目の出場今回が十回目出場の節目となった徳重選手(日置市消防本部・二十八歳)は、副主将としてチームをまとめました。一日目はポイントとなる六区を区間五位と好走。日間六位に大きく貢献しました。また、三日目の四区では区間七位と社会人として安定した走りをみせチームを牽引しました。徳重選手は、三月に結婚することが決まっております。結婚を追い風に、来年さらなる活躍を誓いました。

ドッジボールでともだちふやそう! 思い出つくろう!

第10回いじゅういんカップドッジボール大会



▲優勝した「チームチェスト」

「いじゅういんカップドッジボール大会」が二月八日、伊集院総合体育館で開催されました。大会には、伊集院地域および東市来地域の各小学校のクラス単位などで編成された三十四チーム、五百人を超える児童が参加。それぞれ趣向を凝らしたチームが顔をそろえ、熱戦が展開されました。

また、応援席は、たくさんの方々が埋まり大きな声援が送られました。小学生五・六年生のAパートと四年生以上と女子のBパートに分かれて争われた結果は次のとおりです。

【Aパート】
優勝 チーム「チェスト」(伊集院小)
二位 ガンバ北小(伊集院北小)
三位 ろくろファイターズ(伊集院北小)

【Bパート】
優勝 北小魂(伊集院北小)
二位 イナスマファイターズ(伊集院小)
三位 妙小いなずま41(妙円寺小)
三位 妙小バイキング(妙円寺小)



創立記念日翌日の二月二日、伊作田小学校で講話とかるた大会が行われました。

講話の講師は伊作田に在住の上池達男さん。

戦争中のことや北島康介選手、タレントの柳原可奈子さんを例に挙げ「夢と希望に向かって努力することの大切さ」を話した上池さんの話に、児童は耳を傾けていました。

かるた大会は、地域の風物や標語などを盛り込んだ、児童お手製のかるたを使用。児童は読みあげられた札にあわせた絵札に素早く手を伸ばし、獲得

地域に誇りを

伊作田小創立132周年記念日講話・かるた大会

枚数を競いました。地元の人との会話や身近な遊びを通じて、地域文化や規律を学んでいます。

- ⑤ り色の海が美しい 江口海岸
 - ⑥ んじ あいさつ
- 自然にできるよ 伊作田の子



▲児童お手製のかるたを使ったかるた大会



すくすくと育て!

鶴丸小さいだけ駒打ち体験

鶴丸小学校で二月十八日、しいたけの駒打ち体験があり、三年生と五年生の児童五十五人が参加しました。

これは県が実施している「未来へつなぐ森林・林業教育支援事業」を利用したもので、鹿児島地域振興局の住吉博和さんと小林孝幸さんを講師に招いて行われました。

児童は「きのこは木を食べる生きものである、植物ではなく動物の仲間になる」ことや駒打ちの手順などしいたけに関する豆知識を得て、実際に作業に取りかかりました。

原木にドリルで穴を開け、金づちでタネゴマを打ち込みました。不慣れな手つきながら、その真剣な表情は職人さながら。コマ打ちは初めての五年生の



鈴響輝(ひびき)君は「菌でしいたけができることは知らなかった。早く食べたい」と採取の時期が待ち遠しい様子でした。



伊作田を知ろう!

ふれあい文化財史跡めぐり歩こう会

第三十回ふれあい文化財史跡めぐり歩こう会が二月二十一日、伊作田地区(東市来)で開催されました。



これは毎年、市教育委員会と東市来地域子ども会育成連絡協議会が主催し、地域を知り、健康やかな郷土づくりを目的として行われています。

今年の参加者は五百二十人。伊作田地域の史跡は、地藏菩薩が多いのが特徴で、他の地域では廃仏毀釈により仏像、仁王像が壊され、少ないのが現状です。

参加者は、天気に恵まれ、二時間半という充実した時間を過ごしました。来年は、皆田地区の史跡散策となります。

充実した福祉をめざして

喜楽奈里10周年記念行事

吹上町にある認知症対応型共同生活介護事業所「喜楽奈里」が平成十年十月に開設し今年で満十年になり二月十五日、吹上中央公民館で記念行事が行われました。

佐野正男総合施設長は、「周囲の環境の大切さとまちぐるみの協力を合わせる事が大切で、地域の高齢化をみんなで考えてがんばっていききたい」とあいさつ。「高齢になっても安心して生

き生き暮らせる町を一緒に」と題して、認知症介護研究・研修東京センターの永田久美子先生の「認知症は理解することと地域で支えあうことが大切である」と記念講演がありました。

「この町ですと暮らしたいね」と題して、シンポジウムも開催され、参加者は、認知症について、地域が見守り支援を行うことの大切さをより深く学びました。



地域における献身的な活動を評価

「小松帯刀を守る会」

日吉地域の「小松帯刀を守る会」が、高齢者を中心とした、さまざまな分野で地域活動を行

っている団体として、県知事表彰を受け一月三十日、県民交流センターで伝達式が行われました。



「小松帯刀を守る会」は、昨年のNHK大河ドラマ『篤姫』の放映に伴い、同会を中心に、各種女性団体と連携しての学習会や小松帯刀公墓所(園林寺跡)の清掃、ボランティアガイドなど、地域における日ごろからの献身的な活動が評価され、今回表彰を受けられました。

魅力ある農村づくりに努めたい

鹿児島県女性農業経営士に認定

鹿児島県女性農業経営士に認定された杉元裕佳さん(伊集院)が二月二十五日、市長を表彰訪問されました。

女性農業経営士とは、農業経営や農家生活および地域農業振興などに意欲的に活動できる女性リーダーのことです。

杉元さんは、夫の両親と夫婦で、シクラメン・カーネーションの鉢物・花・野菜の苗物を中心に栽培している農家。「今後、もより良いものを作っていく、将来的には海外研修にも行って



みたいですよ」と意欲的に話されました。

伊集院森林公園で炭焼を体験

炭焼体験



伊集院森林公園で二月十四日と二十八日の二日間、炭焼き体験が行われました。

十四日は、公園内の炭焼き窯で、炭となる原木を窯に入れ、窯の入口をブロックや土などでふさぐ作業を行いました。窯の入口をふさぐと火入れ。約二日間薪を燃やし続け、煙が出なくなったところで、焚き口を密封し二週間冷却しました。

二十八日は、いよいよ窯から炭の取り出しとなりました。取り出した炭を十キップずつ袋に詰め、片付けの後作業は終了。参加者は、「夏のバーベキューが楽しみ」と話していました。



▲熱心に授業を受ける児童(花田小)

食に対する興味をもてました

吹上地域の地場産物を学ぶ授業

吹上地域の地場産物について生産者の方々から学ぶ食育授業が一月二十八日、花田小学校で、二十九日に和田小学校でそれぞれ行われました。

和田小学校では、三十年前から夫婦で漁をしている、吹上町漁業協同組合員の稲田和夫さんを講師に漁の方法や魚の種類の説明を受けました。

私の宝物展

郡長寿会

「私の宝物展」が一月十八日、宮脇公民館(伊集院)で開催されました。

これは、郡長寿会が会員の高揚感と、今と未来を語る機会を作ろうと企画したもので、手作り作品や思い出の写真など五十八人(六十三点)の自慢の宝物が展示され、百二十人の方が会場を訪れました。

全員が参加することで組織活動のすばらしさを感じてもらいたい。また、過去を現在に生かし、現在を未来へつなげていきたい」と話されました。



会場を訪れた人たちは、「高齢者の元氣な姿を感じた」、「宝物への思いがいろいろあり参考になった」などと感想を話しました。

会長の畠中純さんは、「会員

藤扇楽裕会チャリティー発表会

姿・美流きもの塾



二月二十二日に南日本新聞社みなみホールで行われた、日本舞踊藤扇楽裕会チャリティー発表会の売上の一部を福祉に役立ててほしいと二十三日、「姿・美流きもの塾」塾長の東美保子さん(伊集院)が市役所を訪れました。

東さんは、「これからも、着物のすばらしさを伝えていきながら何かできることがあれば協力していきたい」と話されました。

20周年記念誌発刊

土橋狂句会

「土橋狂句会」(伊集院)が、昭和六十三年六月の発足から二十年を迎えたことを記念し、十二月に記念誌を発刊しました。

同句会は、会長の東繁さんをはじめ十一人で構成。この記念誌は、過去の会員を含め十六人の既作品四十句ずつを持ち寄り、表紙絵は地名の由来となった土橋を会員の和田学さんが描いたもので手作りの記念誌です。

代表の宮田隆さんは、「人間の喜怒哀楽を人情味豊かに詠むさつま狂句は、鹿児島県人の大切な財産であり、次代へ引継い



▲さつま狂句講座(土橋)



大変さと感謝と楽しさ

上市来地区男性料理教室



上市来地区公民館で二月十三日、男性料理教室が行われ同地区の男性二十人が参加しました。

これは市の健康づくり活動委託事業を活用したもので、同地区では初めての取り組み。講師に食生活改善推進員の田淵和子さんと谷山照子さんを招いて、参加者は和気あいあいと調理を行い、肉じゃが・ほうれん草の香味和えや酢昆布など六品を調理しました。

坂口恒男さんは「こんな本格的な調理は初めて。家でも作ってみたい」と日頃のありがたみを改めて感じると同時に調理を楽しんでいる様子でした。

伊集院の魅力

伊集院物産展



伊集院地域で生産される特産品や農産物の宣伝販売を促進し、新たな販売拡大や地場産物の振興を目指すため二月十八日から二十四日まで、伊集院物産展が鹿児島市の山形屋デパートで開催されました。

二十九回目となる今年は、十一店舗が参加。店頭には、自慢の商品が並べられました。「ミスひおき」も店頭で伊集院の味をPR。毎年、楽しみにしている常連客も多いこの物産展。連日、大勢の人でにぎわい大盛況でした。

粒ぞろいのいちご大集合

第1回市いちご品評会



市いちご品評会が二月二十四日、市中央公民館で開催され、粒ぞろいのいちご五十五点が出品されました。

今年、市いちご部会が設立されて初めての品評会となり、生産者の方々も予備審査を行いました。

また、最終審査では、県農林普及課・JA県経済連・JAさつま日置農協・市場の方々の、色つや・糖度・重量などの厳正な審査が行われました。なお、審査結果は次のとおりです。

- 一位 宇都 四男
- 二位 松尾 誠
- 三位 宮之前勝男

オンマ(お母さん)の味にチャレンジ

キムチ作り教室

東市来文化交流センターで、一月十六日と十八日の二日間、キムチ作り教室を開催。三回の講座に四十八人が参加しました。

これは日本の食卓でもおなじみとなったキムチを作ることによって、韓国文化への理解をさらに広めようと市が行っている事業。韓国ソウルから来ている市国際交流員の李濬京(リ・ジョンギョン)さんが講師となり、本場の味を伝授しました。

「講師の先生によってレシピが違い、何回作ってもさまざま

な味が楽しめる」と参加した田田恵子さんが話すと、李さんは「キムチのレシピは家庭によってさまざま。お母さんの味です」と説明しました。



これは同センターの自主事業で、ピアノに気軽に触れ、音楽に親しみ、舞台上で演奏する喜びを知ってもらおうと企画したもので、市内外から六十八人が参加しました。

参加者は緊張した様子でしたが、日頃の練習の成果を発揮し、ホール内には美しい音色が響き

日頃の練習の成果を披露

エンジョイ・ザ・ピアノ



第二回こけけピアノ・フェスティバル「エンジョイ・ザ・ピアノ」が二月二十二日、東市来文化交流センターで行われました。

これは同センターの自主事業で、ピアノに気軽に触れ、音楽に親しみ、舞台上で演奏する喜びを知ってもらおうと企画したもので、市内外から六十八人が参加しました。



戸籍の窓

このコーナーに掲載を希望されない方は手続きのときに、お申し出ください。

おめでとう

2月受付分(敬称略)

伊集院地域

(出生児)

山下 陽菜

園田 琢人

久徳 莉央

前屋敷 大輝

西村 晏子

小村 一心

下川 愛陽

上 終陽

(保護者) (自治会)

洋 妙田寺九区

賢一 郡下

敬介 郡下

勇氣 猪鹿倉

哲也 下方限

明智 つつじヶ丘区

知紀 妙田寺九区

直人 天神馬場

東市来地域

(出生児)

近藤 亜美

成相 歩斗

飯牟禮 花香

坊野 絢香

(保護者)

健二

論

英幸

貴之

(自治会)

下養母上

美山上

麓上

田之湯

伊集院地域

(故人)

堀内 實義

馬場 チカ

和田 浅江

尾堂 ナツ

船迫 シナ

谷山 美幸

比良 るみ

玉利 邦子

馬場 清美

桃北 正治

上奥 好臣

(享年) (自治会)

猪鹿倉

古城

下土橋

上土橋

恋之原

中福良

中川

朝日ヶ丘

朝日ヶ丘

つづじヶ丘一区

大田上

おぐやみ

2月受付分(敬称略)

日吉地域

(出生児)

下内 奏詩

内田 倫世

(保護者) (自治会)

寛 中区

純二 八幡

古川 暖真

誠

下与倉

東市来地域

(故人)

野元 ミツユ

宮原 昭広

西 正則

福田 豊志

尾立 フミ

梅木 肇

(享年) (自治会)

下養母下

城之町上

牧之角

北山

杉之迫

梅木

日吉地域

(故人)

成田 忠一

下田 平政廣

寺前 クニエ

山崎 悦二

鳩野 政男

宮内 貞雄

濱田 シノブ

前野 勝志

上床 フジエ

福永 安弘

寺園 信一

(享年) (自治会)

草原

扇尾

青松園

諏訪

北区

坂元

入来浜

東本町

中和田

南宮内

上田尻



みんなですすめよう!「元気な市民づくり運動」

～精神疾患への理解と支援で住みよいまちに～

急激な社会情勢の不安定さからますます生きにくくなりつつある現代。ストレスの多い社会において心の病気を抱える人は増え続けています。統合失調症、うつ病、認知症、躁病等。心の病気はその人自身が置かれた環境の状況と、その人自身の感受性といった素質等の相互関係により、健康を保ったり、不健康な状況に陥ったりすることが生じます。原因は様々ですが、全く心の病気にかかるリスクの無いような人はおらず、どんな人にも心の病は生じ得ると考えられるのです。

現在、東市来地域と吹上地域で心の健康づくり教室事業(デイケア教室)を開催しています。地域の中で、ややもすると孤立しがちな本人と家族を支援し、集う場を設定し、ウォーキング運動や軽体操、陶芸や折り紙制作等に取り組んでいます。

モットーは「楽しく!」「無理をしない!」こと。参加者一人一人の笑顔がとても素敵です。

<東市来地域>

東市来デイケア教室
毎週第1水曜日 午前10時～午後3時
東市来保健センター

<吹上地域>

ハートふれあい教室
毎週第3月曜日 午前10時～午後3時
吹上保健センター

精神保健福祉ボランティアグループ「ひこばえ」の紹介

平成12年度に伊集院保健所が開催した精神保健福祉ボランティア養成講座を修了後、ボランティアグループとして、教室の支援や患者・家族のイベントへの応援など実践活動を行っています。吹上地域の教室へは毎回参加され人生の先輩、地域の仲間として温かく、優しく参加生へエールを贈り続けてくださっています。



▲ひこばえグループの皆さん

同じ目線でアドバイス。私たちが力をもらっています!!



▲おりがみ作品

この教室に興味のある方、ぜひ遊びにいらしてください。心からお待ちしています。

健幸メニュー『さつまいもとひじきのサラダ』

【材料 4人分】

ひじき…20g だし汁(昆布)…100cc みりん・薄口醤油…各18cc さつまいも…300g
かにかまぼこ…80g 粒マスタード…4g 小ねぎ…10g マヨネーズ…40g

【作り方】

- ① ひじきは水で戻し煮汁で12～13分煮る。
- ② さつまいもはよく洗い皮付きのまま2cm角に切り水にさらし柔らかく茹でる。
- ③ マヨネーズ、粒マスタードを混ぜ合わせ煮汁を軽く切った①、②、かにかまぼこを和えて小ねぎを散らす。

(カルシウム130mg含有 1人当り)



骨粗しょう症予防教室献立より紹介

「地デジ」説明会の希望団体を募集

2011年(平成23年)7月24日の地上デジタル放送への完全移行に向けて、テレビを視聴している皆様のデジタル化に関する相談や支援等に対応するために2月2日、「総務省鹿児島県テレビ受信者支援センター」が設置され、県民の皆様がスムーズに地デジに切り替えていただけるように各地へ説明員を派遣することになりました。(無料)

- 地デジはこれまでのテレビとどう違うの?
- いつかわるの? なぜかわるの?
- 地デジを見るには、どうするの?……などなど

これまでの相談窓口である地デジコールセンターと連携をとりつつ、実際に地デジの画面も見ていただきながら、さまざまな疑問に地デジの基礎からお答えします。

皆様の地域の自治会や老人クラブなどの集会、イベントに説明員の派遣を希望される場合は、電話で地デジコールセンターへお申し込みください。鹿児島県テレビ受信者支援センターから年間を通して随時、説明員を派遣します。地上デジタル放送について全てのご相談も従来通り「地デジコールセンター」で受け付けています。

【問い合わせ・申し込み先】

地デジコールセンター ☎(ナビダイヤル) 0570 (07) 0101
平日は午前9時から午後9時まで。土、日、祝日は午前9時から午後6時まで。
IP電話からは、☎03 (4334) 1111 でお受けしています。

ギャラリー 私の作品展
『日本画』

坂本 直美さん(61歳) [日吉町日置]

子どものころから絵が好きだったという坂元さんは、現在、日本画家として活動しています。本格的な画家になる前に、趣味の陶芸で制作した大皿に絵を描きたいと思い、画材屋さんで出会った砂の絵具(岩絵具)の美しさにのめり込み日本画家を目指しました。「日本画を描く工程は、間があったり箔を貼ったり難しいところもありますが、難しくれば難しいほどやる気が出て楽しいです」と坂元さん。また、「絵は、普遍的な言葉だと思います。うまく、しゃべれなくても、絵で表現できれば」とも。これからは、自分の晩年に向けて見ただけで触りたいと思えるような、感動を与えられる作品を描いていきたいです。






ウォッチまちの文化財 46
しもばい ちすいこう
下原の治水溝

東市来地域湯田の県家畜衛生保健所(元県蚕業試験場)から西北へ約700mの所に、嘉永2年(1849)に完成したとされる石積みの3面側溝があります。薩摩藩の直営工事で造られたもので、市内で最も古い土木工事とおもわれます。

この治水溝は、付近一帯に降った雨が低いところに集まり、土砂を洗い流すのを防ぐために造られたものです。急傾斜に石を階段状に敷き詰め、踊り場を作り水の流れを調整する工法です。完成以来160年の長い年月を耐えて原形を保っているのは、高度な技術といえるでしょう。

溝の幅は約270cmで、石段の傾斜は約45度、総延長は100mになります。石段は、踊り場で区切られており、下から13段、10段、10段、10段、12段、12段と6箇所に分けられます。縦・横30cm角の石材を一列に8~9本並べてあります。踊り場には縦90cm・横30cmの石材を敷き詰めて石畳としています。両側面には約30cm角の石材を4段積みにして崩壊を防ぎ、側面からの土砂流入を防ぐ3面溝になっています。

Access
本庁から車で20分、東市来支所から車で10分


学校の先生になりたい

私の将来の夢は、学校の先生になることです。この夢は、三年生のときからもっています。今まで私の担任をしてくださった先生方が、みんなに勉強や生活のことを教える姿にあらがれて、先生になりたいと思います。

先生方は、いろいろ大変だと思えます。でも、その大変さを顔に出さず、いつも笑顔でひとつひとつの仕事をこなしていけます。

私も先生になったら、学習発表会などの時は、いろいろなアイデアをだして、成功するように準備を着々と進めていきたいと思います。そして、子どもたちに、たくさん思い出を作ってあげられたらうれしいです。

私に教えてくださった先生方のように、子どものやる気を引き出し、考える力を養っていただけるような先生になりたいです。

十年後、子どもたちも先生である私も、毎日学校に行くのが楽しみになっていたらいいなあ。

吉利小学校六年 前花 星南さん

いきいき
シリーズ46

人

地域を活性化し次世代につなげていきたい

吹上地域で温泉旅館を営む中島さん。温泉街を活性化させたいと、平成十一年二月六日に「いいふろの日」として、地域の旅館や公衆浴場の入浴料を無料とするイベントを実施。約二千人のお客さんが訪れました。

このとき、アンケートを実施したところ、「吹上温泉を知らなかった方が多いことに驚き、このままではいけない、良質な吹上温泉の魅力をたくさんの方に知ってもらいたいと強く思いました」と中島さん。

昨年の五月には、地域内外の若い方々に来てもらおうと、吹上温泉旅館組合が中心となってフランスの市場をイメージした「マルシェ日和FUKIAGE」を吹上温泉イベント広場で開催。鹿児島市内外の雑貨店など二十五店舗が軒を連ねた市場には、開店を待ちきれない人もいるほど、たくさんの方に来てくださいました。

「このイベントで、まずは吹上温泉の名前や場所を知ってもらえたと思います。また、来ていただいた皆さんの楽しそうな笑顔を見ると疲れも吹き飛びます。来ていただいた若い方々が十年先、二十年先に吹上温泉を思い出していただければ、長いスパンで吹上温泉を盛り上げていきたいです」と話します。

これまで苦勞を感じたことがありませんという中島さんですが、「イベントは一人の力ではできません。地域の方々と一緒に一丸となって実施することが活性化につながると思います。これからも、感謝の気持ちを忘れず、地域の方と一緒に次の世代につなげて行きたいです」



なかしま まさはる
中島 昌治さん[48歳]
吹上町湯之浦(南湯之元自治会)
●吹上町施設利用促進協会会長

わんぱく直送便

元気のあるお子さんの写真を募集しています。

市内に在住の6歳以下のお子さん
①氏名 ②生年月日 ③保護者氏名 ④お子さんの近況 ⑤お子さんへのコメント ⑥広報へのご意見 ⑦連絡先を添えて、市役所総務企画課(住所は未だまで送付ください)。

熊谷 麻那ちゃん(4歳6か月)
晴琉くん(0歳5か月)
父 光弘さん 母 美穂さん (日吉町日置)
■おかあさんから
2人仲良くいっぱい遊んで、元気に育ってね。

迫 虹乃ちゃん(2歳8か月)
一馬くん(1歳1か月)
父 竜一さん 母 佳奈子さん (日吉町吉利)
■おかあさんから
たくさん笑顔をいつもありがとう。



鹿児島県日置市

市の人口 (住民基本台帳)

総人口 52,051人(△113)
 男 24,360人(△ 67)
 女 27,691人(△ 46)
 世帯数 22,358 (△ 80)
 3月1日現在 ()は前月比

市の面積 253.06km²

今月の表紙

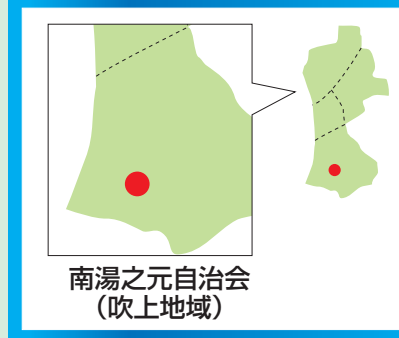


視線は釘付け

鶴丸小学校で行われた「しいたけの駒打ち体験」の様子。作業を行う児童の真剣な表情は職人さながらでした。
 (「鶴丸しいたけ駒打ち体験」P12 関連記事)

吹上地域の中心部の伊作地区を形成する十七自治会の一つ南湯之元自治会。吹上温泉の南側に位置し、平成二十年三月一日現在で百八十五世帯四百七人が暮らしています。

毎年七月に吹上温泉イベント広場で開催される温泉祭りには、からくり人形や灯籠(とうろう)などの見物に、たくさんの人でぎわいます。



わが地域

南湯之元自治会 (吹上地域)

南湯之元自治会 (吹上地域)

自治意識を高め、住民相互の強調を図る

みなみゆのもと



▲田原嘉治会長

吹 上温泉の南側に位置する南湯之元自治会は、少子高齢化が進んでいます。各専門部が中心となり地域を巻き込んだ活動を心掛けています。

毎 年七月に開催される温泉祭りは地域の一大イベントです。温泉客など地区内外からたくさんの方が訪れます。約二週間かけて準備を行います。横回転の水車で回るからくり人形や花ヅルと呼ばれる灯籠(とうろう)の制作、七夕作りまた、



▲温泉祭りのからくり人形

当日の会場設営から運営まで青年部、高齢部、婦人部、みどり部(育成会)、旅館組合など協力しながら祭りを盛り上げます。昨年は、新しく高さ二尺の六角の灯籠を二基制作しました。統芸能としては、鹿児島県の指定無形文化財の伊作太鼓踊りがあります。この太鼓踊りは、輪番になっており、昨年は、湯之浦地区(南湯之元・北湯之元・ふもと・小牧・永野)

伝 統芸能としては、鹿児島県の指定無形文化財の伊作太鼓踊りがあります。この太鼓踊りは、輪番になっており、昨年は、湯之浦地区(南湯之元・北湯之元・ふもと・小牧・永野)

健 康づくりや地域内の交流の場として、毎月いきいきサロンを開催。誕生会は、三カ月ごとに行うなど親睦を図っています。

こ のほかに、活性化を図るための吹上温泉ウォーキング大会(三月に開催)も昼食の準備や温泉入浴半額券の提供など地域をあげて取り組んでいます。このウォーキング大会には、市内外から大勢の人が訪れます。



▲毎月開催されるいきいきサロン

集 落整備は年四回実施。川払いや水路清掃作業、道路愛護作業などを行っています。地区内の危険箇所を無くそうと昨年はロードミラーを新たに六カ所設置しました。また、地区内の早期田を利用したコスモスの植え付けや桜並木の下に季節ごとに菜の花、紫陽花などの植え付けも計画しています。

こ れからは、できるだけ行政に頼らずに、地域全体を巻き込みながら、自分たちの手で盛り上げていき、活力とぬくもりに満ちた地域にしていきたいです。



▲年4回行う集落整備

No.47 平成21年3月号

発行/日置市役所 総務企画部企画課
 〒899-2592 日置市伊集院町郡一丁目100番地
TEL 099 (273) 2111
FAX 099 (273) 3063
 東市来支所 **TEL 099 (274) 2111**
 日吉支所 **TEL 099 (292) 2111**
 吹上支所 **TEL 099 (296) 2111**
<http://www.city.hioki.kagoshima.jp/>